

フラッセル日本人学校補習校 学校だより No.29



ベゴニア

～「わかった」「できた」「来てよかった」

の笑顔あふれる補習校～



学校文集の申し込み、21日まで

2024 (令和6) 年12月14日

文責 校長 佐藤 博

7日にプリントで全員に配付しましたが、「令和6年度 学校文集」の申し込みはすでに終わられたでしょうか？ここで冊数を確認しその冊数を業者に注文するため、必ず事前の申し込みが必要となります。たとえ購入しなくても、確認のため、「購入しません」に〇をつけて提出してください。なお、このプリントは一応全児童・全生徒に配付していますが、学校に提出する際には第1子（長男・長女）の子に持たせるようにお願いします。つまりお子さんが何人か補習校に通っていても、家庭から提出する際には1枚で構いません。昨年とは変更していますのでお間違えないようにお願いします。



また、希望する冊数は何冊でも構いません。例年、日本にいるおじいちゃんやおばあちゃんにも読んでもらいたい、と数冊希望する方もいらっしゃいますが、子どもたちが一生懸命書いた作文ですので、どうぞたくさん買って読んでいただければと思います。なお文集の値段ですが、注文冊数によって異なります。昨年度は1冊13ユーロでした。値段は決定次第、学校だより等でお知らせします。文集の配布は2月中、料金は3月の授業料引き落としの際に、一緒に引き落とされる予定です。注文後の冊数の変更はできませんので、21日には忘れないように持ってきてください。

全日の吉野先生に数学の授業をしてもらいました

14日の2校時目に全日の数学を担当している吉野先生に中3のクラスで授業をしていただきました。単元は「相似」、授業の導入には紀元前のギリシャの学者であるタレスがどのようにしてピラミッドの高さを測ったのかという話をしていただき、子どもたちもどんどん数学の魅力にはまっていったようでした。授業後の子どもたちの感想には「とても楽しくて、先生のおかげで数学が好きになりました。楽しかったので一瞬で授業が終わってしまいました」「現地校だとつまらないと感じていた数学が、吉野先生のおかげでとても面白く、興味深く感じました。また完璧に理解していなかった相似も完全に分かりました。問いに答える前にもわかりやすい例（ピラミッド）を出してもらえて良かったです。また授業に来てくれたら嬉しいです」といった喜びの音がたくさん上がっていました。先週の中山先生、また今週は吉野先生とわざわざお休みのところ来てくださいました。本当にありがとうございました。





「日本人学校創立五十周年記念式典」では、日本の文科省と外務省より左のようなお祝いのメッセージをいただきました。内容については、周年記念実行委員会の足立委員長より紹介していただきましたが、音声の不具合もあって保護者の皆さまには伝わりにくかったようです。ここで全文を紹介いたします。

ブラッセル日本人学校が五十周年を迎えられることを、心より御祝い申し上げます。

昨今のグローバル化の進展において、海外に住む日本人児童生徒に対する教育の確保は極めて重要な課題であり、ベルギー日本人会及び学校運営委員会、教職員及び保護者の皆様をはじめとする多くの関係各位のこれまでの御尽力御協力に対し、心から敬意を表します。

貴校は、フランス語や英語の授業のほか、現地校との交流や地域施設の見学等、在外ならではの環境を生かした学習活動を通じ、現地理解を深めるとともに、異文化の中での貴重な経験を活かし、日本とベルギーだけでなく、世界の架け橋となる子ども育成に尽力されておられます。このような中で学ばれた児童生徒の皆さんが、新しい国際化時代を生きるグローバル人材の原石として、世界に飛躍されてゆくことを期待しております。

今後、多くの関係者の皆様が一致協力して、ブラッセル日本人学校での教育の充実を御尽力され、貴校が更なる発展を遂げられることをお祈り申し上げます。

文部科学省総合教育政策局長 茂里 毅



この度、ブラッセル日本人学校が創立五十周年を迎えられたことに対し、心からお慶び申し上げます。

ブラッセルは、欧州連合を始めとする重要な機関が置かれ、欧州の首都とも言うべき都市です。貴校では、その恵まれた環境を生かしながら、日本の教育課程を基本としつつ、国際色豊かな教育を行われてきたと承知しています。歴代の教職員の皆様、日本人学校理事会の皆様、保護者の皆様に対し、深く敬意を表します。

世界が多様性と不確定性の時代を迎える中、子どもたちには、様々な価値観や文化を理解しつつ、未知の分野に挑戦する積極性とたくましさを持つことが期待されます。貴校から、そのような将来性にあふれた子どもたちが次々と巣立っていく、日本とベルギー、そして欧州の間の架け橋として大きな役割を果たされることを願っています。外務省としても、文部科学省と連携しつつ、引き続き貴校に対してできる限りの支援を行っていく考えです。

貴校の益々の御発展を祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

外務省 岩本桂一（いわもとけいいち）領事局長



補習校クリスマスコンサート、いかがでしたか？

14日の13時から実施した「チーム補習校クリスマスコンサート」、いかがでしたか？スタートの1名は例外として(笑)、その他の先生方は皆さんプロの音楽家、本当にうっとりとする素晴らしい演奏ばかりでした。たくさんの皆さんが見に来てくださり、本当にありがとうございました。また児童生徒のみなさんも、一緒に歌ってくれてありがとうございました。クリスマス前の楽しいひとときを、みんなで共有できたこと、非常に嬉しく思います。

今回のコンサートだけでなく以前実施した全日の先生による理科や体育の授業、放課後のバスケットクラブ、また昨年度から何度か行われている日本人会主催のイベント等、補習校でしか体験できないことも本年度はたくさん行っています。国語や算数の勉強だけでなく、こうやって日本の文化もたくさん体験してもらえると嬉しいです。年が明けたらすぐに「お正月デー」や「餅つき大会」も予定されています。ベルギーで味わう日本のお正月、楽しみですね。

